

上関町地域公共交通計画 (概要版)



令和6年3月
上関町

1. 計画策定の目的

- 少子高齢化や自家用車中心の生活の定着に伴う、公共交通の利用者数の減少
- 公共交通を維持するための自治体からの財政負担が増加していくことに加え、いわゆる「2024年問題」といわれる公共交通の担い手不足の深刻化などによる、公共交通のサービス低下(廃止・減便等)
- 高齢化に伴う免許返納者数の増加や、高校再編等の影響による通学ニーズの変化

公共交通事業の持続可能性を高め、公共交通が果たすべき役割を達成できるようにするため、公共交通を多様な主体で共創し、連携を強化することをめざし、今後の公共交通施策のマスタープランとなる「**上関町地域公共交通計画**」を策定

2. 計画の区域

上関町全域

3. 計画の期間

令和6年度～令和10年度の5年間

4. 地域概況

人口	<ul style="list-style-type: none">● 人口は平成2年からの30年で約半分となり、令和27年には1,000人を割り込むと予測されている。● 高齢化が急激にすすんでおり、地域別に見ると蒲井地区以南では高齢化率が60%以上と高くなっている。● 人口は中心部の室津地区、上関地区に集中しているほか、集落ごとに一定程度の人口分布がみられ、集落以外に人口があまり分布していない。
施設立地	<ul style="list-style-type: none">● 移動の目的地となる施設は室津地区、上関地区に集中しているほか、祝島や八島にも医療機関がある。● 町内にスーパーや大きな医療機関がないため、移動ニーズの高い施設は柳井方面(ゆめタウン柳井、マックスバリュウ柳井、周東総合病院、柳井医療センター等)になっている。
観光	<ul style="list-style-type: none">● 観光資源は海岸部(中の浦海浜公園等)や山間部(皇座山展望台等)に点在している。● 平成26年12月に「道の駅上関海峡」が開業し、平成27年は観光客数が前年の2倍以上に増加。● 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年に町内の観光入込客数が大きく減少。コロナ禍後は回復傾向にある。
高校の立地状況	<ul style="list-style-type: none">● 町内には高校がなく、町外の高校へ長距離通学が必要。● 上関町内から防長バスを利用して通学しやすい高校は柳井商工高校と柳井高校の2校となり、それ以外の高校は、他の交通手段への乗継や、保護者等の送迎が必要。● 山口県教育委員会が定める『県立高校再編整備計画前期実施計画』において、「柳井地域・周南地域において高校の再編整備の検討を進める」と位置付けられており、県立高校を取り巻く環境が大きく変わる状況にある。

5. 公共交通の現状

路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ● 防長交通が柳井駅前～上関線を運行している。 ● 利用者数は平成29年度から令和2年度まで横ばい傾向だったが、令和3年度は年間利用者が前年から20%以上減少しており、令和4年度もその傾向が続いている。 	
町営バス	<ul style="list-style-type: none"> ● 白井田～柳井医療センター線、大津～中ノ浦線、四代～道の駅線の3路線が運行している。 ● 利用者数は減少傾向にあり、平成29年度から令和4年度の間で約40%減少している。 ● 道の駅や渡船場での乗車が多くあるが、どのバス停も年間600人前後(1日2人以下)と少ない状況である。 	
離島航路	<ul style="list-style-type: none"> ● 町が直営で八島～上関航路を、上関航運が祝島～柳井航路が運航している。 ● 八島～上関航路の利用者は令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少したが、それ以降はやや増加傾向にある。 ● 八島～上関航路は室津地区の中学生が室津～上関間を通学利用している。 ● 祝島～柳井航路の利用者は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度以降は40%以上減少し、その後は年々増加傾向にあるが、コロナ禍前には戻り切っていない状況である。 	
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内にあるタクシー事業者は1営業所で1台しかなく、令和5年12月末より運転手がいない状況である。 ● 近辺にあるタクシー営業所からは5km以上離れており、タクシーの配車が困難な状況である。 ● 輸送人員、旅客収入のいずれも減少傾向にあり、令和2年度以降はコロナ禍の外出控え等によりいずれも大幅に稼働が落ち込んでいる。 	
その他の輸送資源	スクールバス	<ul style="list-style-type: none"> ● スクールバスは、小中学校あわせてマイクロバス2台とワゴン車1台で町内3路線を運行している。 ● 利用登録者数に大きな変動はなく、50人前後で推移している。
	外出支援サービス(たすき号)	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者や障害のある方で、自力で車に乗降可能な方を対象とした外出支援サービス。 ● 利用者は事前にチケットを購入し、利用範囲は上関町内限定。 ● 利用時間が平日8時30分～17時15分、利用料金を30分以内は300円、60分以内は600円となっている。
その他の移動支援策	<ul style="list-style-type: none"> ● 自らの移動手段を持たない高齢者や障がい者の方の外出促進等を目的に、移動支援策を実施している。 ● 高校生の修学の意欲と能力の向上を高めるとともに保護者の経済的な負担の軽減を図る目的で高等学校通学定期購入費補助金制度を実施している。 	
公共交通の担い手の状況	<ul style="list-style-type: none"> ● どの事業者も担い手不足が深刻化している。 	

6. 地域公共交通を取り巻く現状・問題点／取り組むべき課題

上関町の地域公共交通を取り巻く現状・問題点

問題点1. 町の現状と未来の暮らしの状況

- 人口減少、高齢化・・・人口減少と高齢化が進むなか、免許証返納後の生活を支える移動環境が十分とは言えない。
- 買い物における町外志向・・・町内の買い物拠点は「道の駅上関海峡」やその周辺のみとなっており、町民の買い物は町外が中心。
- 町をまたいだ高校生の通学・・・町内には高校がなく、高校生は周辺自治体の高校に進学している。町内の高校生が通う高校は再編が検討されており、今後の対応に留意が必要。

問題点2. 移動ニーズと公共交通の状況

- 通勤・通学需要に対応する幹線交通・・・通勤・通学は周辺自治体への需要が多い。路線バスの主たる利用は高校生の通学となるが、各高校ともに保護者の送迎が多く、保護者は負担を感じている。また、志望高校の選定時に通学時の公共交通を考慮する生徒が半数存在する。
- 町外への通院・買い物に対応する交通・・・通院や買い物は柳井市や平生町への需要が多く、防長バスや航路が担っている。
- 町内の通院・買い物に対応する交通・・・町内の移動需要は、一般乗用タクシーおよび町営バスが担っている。

問題点3. 公共交通の利用者数と行政負担

- 公共交通の利用者減少・・・防長バス2系統の利用者は減少傾向であり、町営バス3路線の利用者数も大きく減少している。八島航路の利用者数は安定しているが、祝島航路はコロナ禍の影響で大きく減少している。
- 公共交通に係る行政負担の増加・・・路線バス、町営バスともに行政負担額は年々増加している。航路の行政負担額も増加傾向にある。

問題点4. 公共交通のサービス改善

- 公共交通の困りごととして、町民、高校生とともに、「他の交通手段との接続を良くする」が多く、「ダイヤを分かりやすく」も多くなっている。

問題点5. 公共交通の担い手確保と事業性向上

- 公共交通の担い手不足・・・路線バス、町営バス、航路、タクシーともに担い手不足が大きな問題であり、長期的に見た持続可能性が危ぶまれている。
- 事業性の低下・・・利用者の減少に伴い、路線バス・タクシーをはじめとした民間公共交通事業者の事業性は非常に厳しい状況にある。

問題点6. まちづくりとの連携

- 道の駅上関海峡は買い物拠点として公共交通の主な目的地であり、施設と交通の連携が必要である。

取り組むべき課題

課題1.
路線バスの
利便性向上

課題2.
町営バスの
利便性向上

課題3.
町内のタクシー
事業代替サー
ビスの検討

課題4.
航路の維持・
活性化

課題5.
公共交通の
利用促進

課題6.
持続可能な
公共交通事業
の推進

課題7.
まちづくりとの
連携

7. 公共交通のめざす姿

基本理念

豊かで活気あるふるさとの暮らしを支える
持続可能な公共交通

基本方針 1

地域特性に対応した
公共交通体系の構築

基本方針 2

みんなが利用しやすい
公共交通サービスの充実

基本方針 3

持続可能な公共交通のため
の連携と共創



拠点	● 中心拠点	町内の中心拠点として、施設や公共交通が集積する拠点
	● 地区内の拠点	公民館等の地域住民が集う地区内の拠点

凡例と区分		各交通の役割と維持方針
幹線	路線バス (防長交通 柳井駅前～上関線)	<ul style="list-style-type: none"> 町外への通院や通学需要をはじめとした隣接市町と広域な移動を担う
支線	町営バス (定時定路線)	<ul style="list-style-type: none"> 町内完結の移動需要を担う
	町営バス (非定時定路線)	<ul style="list-style-type: none"> 町内完結の移動需要を担う きめ細やかな需要が見込まれる時間帯に定時定路線を補完する形で運行する
	航路	<ul style="list-style-type: none"> 主に祝島、八島と町の中心部との間の移動需要を担う
輸送資源 その他	個別輸送サービス	<ul style="list-style-type: none"> 幹線、支線で対応できない個別移動需要を担う 一般乗用タクシーあるいはその代替サービスが担う
	外出支援サービスたすき号	<ul style="list-style-type: none"> 外出支援が必要な人を対象とした移動需要を担う

8. 目標を達成するために行う事業/スケジュール

目標	事業	実施スケジュール				
		R6	R7	R8	R9	R10
基本方針① 地域特性に対応した公共交通体系の構築						
目標1-1 高齢者や高校生の町外移動の利便性を維持・改善するために周辺自治体と連携した路線バスサービスの継続的な改善	事業1 路線バスサービスの継続的な改善	随時実施				
目標1-2 八島・祝島住民の暮らしを支え、来訪者の利便性向上のための運行改善、他の交通機関との連携	事業2 持続可能な航路への再編	随時実施				
目標1-3 主にクルマを自由に使えない住民の生活を支えるための町営バスの再構築	事業3 クルマを自由に使えない住民のニーズに即した持続可能な町内交通体系の構築	運行計画	実証運行	本格運行		
目標1-4 町内のビジネスや生活を支える個別輸送サービスの確保	事業4 町内のビジネスや生活を支える個別輸送サービスの再構築	運行計画	実証運行	本格運行		
基本方針② みんなが利用しやすい公共交通サービスの充実						
目標2-1 全ての利用者にわかりやすい公共交通情報の提供	事業5 公共交通に係る情報提供の推進	GTFSデータの整備、公開 更新 冊子作成				
目標2-2 公共交通の待合・乗継環境向上	事業6 公共交通の待合・乗継環境向上	計画・随時実施				
基本方針③ 持続可能な公共交通のための連携と共創						
目標3-1 交通事業者の収益向上に向けた新たなビジネスの構築	事業7 交通事業者の収益向上に向けた新たなビジネスの構築	計画・随時実施				
目標3-2 担い手(運転士・船員)確保のための事業推進	事業8 担い手(運転士・船員)確保のための事業促進	計画・随時実施				
目標3-3 公共交通を利用した外出回数の増加	事業9 公共交通の利用促進施策の展開	計画・随時実施				
目標3-4 町内拠点施設との連携と共創による公共交通の魅力向上	事業10 町内拠点施設との連携と共創による公共交通の魅力向上	計画・随時実施				

9. 目標達成状況の評価

目標	評価指標	現状値 (令和5年度) ★印は令和4年度	目標値 (令和10年度)
目標 1-1	評価指標① 路線バス利用者数	108,225人/年★	108,300人/年 以上
	評価指標② 補助路線における収支率	54.0%★	55.0%以上
	評価指標③ 補助路線における行政負担額	3,039千円/年★	3,039千円/年 以下
目標 1-2	評価指標④ 航路利用者数	〈八島～上関航路〉 10,889人/年★	10,900人/年 以上
		〈祝島～柳井航路〉 16,340人/年★	25,000人/年 以上
目標 1-3	評価指標⑤ 町営バス利用者数	5,521人/年★	5,600人/年 以上
目標 1-4	評価指標⑥ 個別輸送サービスの充足率	(データなし)	70%以上
目標 2-1	評価指標⑦ 町民アンケートの困りごとにおける「分かりにくい」のポイント数	路線バス (防長バス) 6.4%	路線バス (防長バス) 6.0%以下
		町営バス 8.8%	町営バス 8.0%以下
目標 2-2	評価指標⑧ 町民アンケートの困りごとにおける「バリアフリーになっていない」・「待合室で待つのが辛い」のポイント数	路線バス (防長バス) 5.6%	路線バス (防長バス) 5.0%以下
		町営バス 2.5%	町営バス 2.0%以下
		離島航路 7.6%	離島航路 7.0%以下
目標 3-1	評価指標⑨ 交通事業者の新たなビジネスの数	(データなし)	3件以上 (年間1件以上)
目標 3-2	評価指標⑩ 新たな担い手(運転士・船員)確保に向けた取組件数	(データなし)	5件以上 (年間1件以上)
目標 3-3	評価指標⑪ 公共交通の総利用者数	路線バス (防長バス) 108,225人★	路線バス (防長バス) 108,300人以上
		八島～上関航路 10,889人★	八島～上関航路 10,900人以上
		祝島～柳井航路 16,340人★	祝島～柳井航路 25,000人以上
		町営バス 5,521人★	町営バス 5,600人以上
目標 3-4	評価指標⑫ 拠点施設と共創事業の数	(データなし)	5件以上 (年間1件以上)

上関町地域公共交通計画
-概要版-

発行 上関町地域公共交通会議

作成 令和6年3月